

白砂川ヒジ曲リ沢 (1級上・+)

日帰り・2時間 45分 水平距離 400m 高度差 70m

適期：梅雨明け～9月中旬

装備：初級者及びF3直登時はザイル

地形図：1:25000 小雨・野反湖

<アプローチ>

(車利用) 国道145号長野原町内で須川橋のT字路を国道292号六合村(くにむら)方面へと入り、六合村の荷付場のY字路で野反湖方面(国道405号)に入る。花敷温泉口の先のトンネルをくぐり、白砂ダムにかかる白砂大橋を渡った先にある和光原集落から約4Km、Y字路を右へ。ダートの万沢林道に入る、白味田沢川を渡って、途中別荘地(パークランド和光原・大自然村)への道を右に分け、左に採石場への道を分けると、林道は白砂川を渡る橋に出る。橋の対岸側(左岸)に駐車スペースがある。(2008年8月現在林道工事の事務所のプレハブが建っているが、3台程度の駐車スペースはある。)

<遡行>

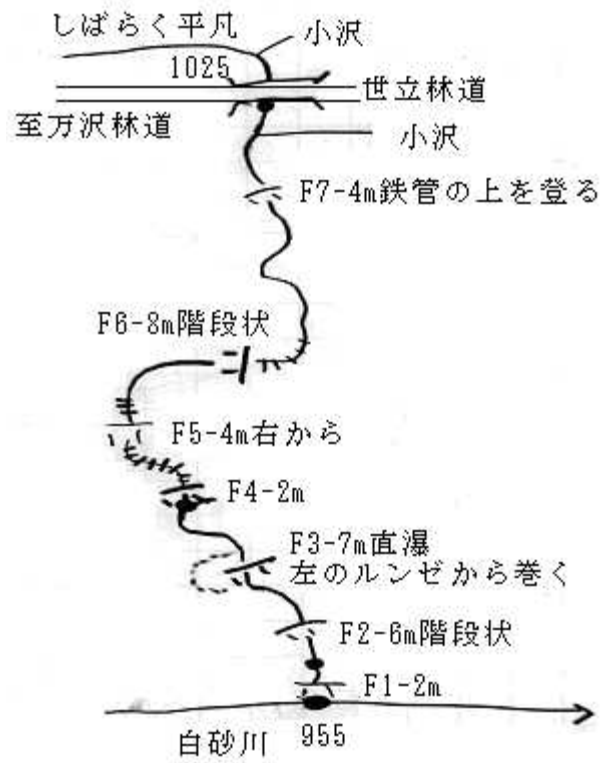
駐車スペースから白砂川へと下り、河原を渡渉しつつ歩くと左岸から2mナメ滝で出合っている沢がヒジ曲リ沢だ。出合は淵になっていて魚影も見られる。奥にF2(6m)階段状が見えている。F1は右からへつって取り付けば容易に登れる。F2は左が簡単で程度、岩に脆い部分があるので気をつけて登りたい。沢はミニゴルジュ状となり、すぐにF3(7m直瀑)直登は難しそうなので左の苔と泥のルンゼから巻く。F3の落ち口すぐ上にはF4(2m)がかかり、その上はナメでF5までナメが続いている。F4は釜がなく真ん中に大岩がある。両端に登れ+か。気持ちの良いナメを歩くとF5(4m)、右の凹角を登る。沢は左右に屈曲し、少しだけ沢を歩くとすぐにF6(8m階段状)左側が登りやすい。結構濡れるので寒い時期は厳しいかもしれない。F6から少し行くと、突然鉄管が現れる。どうやら、何年か前の台風の際に上の林道の橋として使用されていたものが流されたらしい。鉄管の下にはF7(4m)があるが、ここは鉄管をありがたく使わせてもらう。鉄管の上を歩けば楽に越えられ、しばらく歩けば世立林道の橋に出る。ここで遡行を打ち切る場合は橋の右手を登ればよい。

世立林道より上部は、大きな滝もなく釣り師もしばしば入渓するようだ。出合から世立林道までの間はあまり魚影は見られない。

下部のみの遡行であれば林道を沢の上流側を向いて左へ20分ほどで万沢林道に出て、更に左へ15分も歩けば入渓点に戻る。

<コースタイム>

入渓点(20分)ヒジ曲リ沢出合(50分)F4下(1時間25分)世立林道(35分)入渓点



白砂川ヒジ曲リ沢（下部）
2008年8月2日



F4 から F5 へ続く気持ちの良いナメの廊下。